

市議会議員

あべ みさ



立川市議会議員 あべみさ REPORT No.14 2026 年 8 月 1 日
発行責任者 阿部 美砂 (所属会派：立憲ネット緑たちかわ)

立川・生活者ネットワーク 〒190-0004 立川市柏町 4-6-21
TEL : 042-535-9110 FAX : 042-535-9116

【臨時議会報告】

誰も取り残されず安心して暮らせる立川を！

「厚生委員会」に所属決まる

7 月 14 日から、新たな 4 年間の任期が始まりました。7 月 21 日には、改選後初めての臨時議会が開かれ、議長、副議長、監査委員などの選出をはじめ、常任委員会の構成や正副委員長などが決まりました。

1 期目の 4 年間は、環境まちづくり委員会に所属してきましたが、今回は初めて「厚生委員会」に所属することになりました。

厚生委員会が所管するのは、医療、介護、障がい福祉、地域福祉、健康、子ども・子育て支援など、多岐にわたります。市民の命と暮らしに深く関わる



重要な分野ばかりです。誰も取り残されず安心して暮らし続けられる立川をめざして、一生懸命取り組んでまいります。また、多摩地域の 25 市 1 町が共同で、ごみの最終処分や焼却灰の資源化を行う自治体組織「東京たま広域資源循環組合」の議会議員も担うことになりました。



身近な移動を支える

「地域内交通導入支援制度」モデル地域決まる

高齢になって運転免許証を返納した方や、道路交通法の改正による青切符制度の導入を受けて、「自転車に乗るのが怖くなった」という方が増えています。

市民の皆さんからは、「買い物や病院にも行けない」「立川駅や市役所まで行く交通手段がない」「くるりんバスを増やし以前のように運行してほしい」といった声を多くいただいています。

現在、くるりんバスは西砂ルートと錦ルートで運行されています。今後、それぞれの地域内でルートの見直しが予定されていますが、燃料費の高騰や運転手不足などの課題もあり、運行ルートの追加や運行地域の拡大は予定されていません。

そこで立川市では、地域内の身近な移動を支える「地域内交通導入支援制度」の創設を計画しています。その制度新設に向けたパイロット事業として以下の地域で実証運行を実施する予定です。そのための取り組みが本年からスタートします。

<パイロット事業の候補エリア>

- 富士見・柴崎モデル(仮)大モデル
2027 年末からパイロット事業実施を想定
- 砂川・上砂モデル(仮)中モデル
2028 年からパイロット事業実施を想定
- 北東(若葉又は栄)モデル(仮)小モデル
2029 年末からパイロット事業実施を想定